



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

「人間分子の関係、網目の法則」～「君たちはどう生きるか」から～

「人は一人では生きていくことはできない。誰かの恩恵を受けて生かされている。だからこそ、感謝の気持ちを常に持って生活しなければならない」

私は、中学生の頃、上記のことを生き方の拠り所とすることに決めました。もちろん、この拠り所と反する行動をとってしまい、自分に幻滅することは日常茶飯事でしたが、それでもブレることなく生きていくことができたと思っています。

実は、この拠り所は、吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」に出あったことがきっかけでした。日中戦争が始まった1937年の刊行ですので「ずいぶん昔のこと」と思われる内容も多いです。しかし、「他からの恩恵に対する感謝」「素直な気持ち」「友情の大切さ」など、多くのことに感銘を受けた、私の大切な本のうちの一冊となっています。(※スタジオジブリ・宮崎駿監督の2023年作品「君たちはどう生きるか」とは異なります)

特に「他からの恩恵に対する感謝」について紹介します。

主人公である中学2年生のコペル君は、叔父さんとのやりとりを通して「人間分子の関係、網目の法則」を発見します。私たちの身の回りにある「もの」「こと」は、見たことも会ったこともないような大勢の人と知らないうちに網のようにつながっている、という法則です。これに対して、叔父さんは、「食べるもの、着るものなど、自分にとってなくてはならないものを作り出すために、実際に骨を折ってくれた人々がいる。そのおかげで生きている自分とそれらの人々とお互いに好意をつくし人間らしい関係でつながっていることが大切だ」とコペル君に説きます。正に、さまざまな「もの」「こと」に思いを寄せて感謝の気持ちをもって生きることだと解釈しました。私は、今後もこの考え方を拠り所に生きていくつもりです。

「生き方の拠り所となった本」を教えてください

そこでですが、読者の皆さまの「生き方の拠り所となった本」を小中学生に紹介してください。

下のURLのリンク先にある入力フォームに①お名前(匿名も可)、②書名、③著者名、④おすすめする対象[小学生(低・中・高)、中学生]、⑤すすめた理由(どのような生き方の拠り所かなど)を記載してください。

なお、「輝け！おばねっ子」に掲載させていただきますことをご了承ください。

【回答リンク先】 <https://forms.gle/qDUB8JLsGCEAJpDR8>

【担当】尾花沢市教育委員会 小中教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330



40年近く持ち続けています